

公表

放課後等デイサービス「あすなろ」における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス あすなろ		公表日	令和7年2月28日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	100%	0%	・個別支援室としてプレハブ等を増築したり、物品整備のためにユニット倉庫を設置するなどして、物品整理も含めて全面的に療育スペースの確保に努めている ・分散療育の実現により個に応じた療育ができるようになった	・人数に対して、法的には十分な面積が確保されている ・聴覚過敏のお子さんや対人面の課題を持っているお子さんに対して、プレハブハウスを建設して個別対応を行い、より細やかに配慮できるように改善した
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	100%	0%	・法定の人数以上に常に配置している	・障がいの重いお子さんが多いため、法的な人員配置の約2倍の人員配置を行っている ・事情により定員を超過した場合には、法的に十分な人員配置を行っている
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	100%	0%	・写真提示や玩具、知育教材の整備等は構造化を図っている ・建物の構造上、バリアフリーが困難である場合もあるが、敷石タイルを貼る、別棟への動線を安全に整えたり屋根を設置するなどの工夫をしている	・引き続き視覚的支援や、生活空間の構造化に努力し、子ども自身が自分でできるための改善を努力する予定
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	100%	0%	・アルコール消毒等を積極的に行い、感染症防止、清潔を意識している	・引き続き清潔を最優先した空間の提供に努める
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	100%	0%	・プレハブ棟の活用により、ホール以外に、支援室1、2、3の分散を行い、個別の課題に応じた使用を行っている	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	100%	0%		・職員の目標管理に関する、面接・自己評価を充実させ、業務改善における職員全体の参画を図れるよう努力する
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	89%	11%	・保護者会の実施、アンケート調査の集約等により業務改善に生かす努力をしている	・保護者会の開催については、回数を増やしてほしいという要望が多く、年間1回ではなく機会を増やすことを検討していく
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	100%	0%	・月に1回の運営委員会だけでなく、常に意見を言える体制ができています	・運営委員会の定例化に取り組みオフィシャルな意見交換の場を設置した ・職員の勤務形態が多岐にわたるため、意見集約の機会が確保されにくいことを鑑み、個別の面談の機会を増やしたり、日常的に意見の言いやすい風土を醸成する努力をしている
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	67%	34%	・保護者への周知は契約時に行ったままになっている ・第3者評価委員に自己評価の結果を持参することにより評価内容の提供は行っているが、業務改善に反映するには至っていない	・職員への周知が足りていないことに関する反省を元に、第三者委員の意見を報告する機会を設ける必要がある
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	100%	0%	・月に1回の研修会開催のみならず、必要な課題に関して、日常的研修を確保する努力が必要	・研修に関する情報収集を積極的に行い、内外を問わず、職員が学べる環境を向上させる
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	100%	0%	・支援プログラムはホームページで公表している	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	100%	0%	・放課後等デイサービス計画は確実に作成している	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	100%	0%	・児童発達支援管理責任者が作成した計画を研修時を活用して共有している	・作成時から全職員が関わる環境整備に向けて工夫が必要
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	100%	0%	・各会議・打ち合わせノート、引き継ぎにノート、ヒヤリハット事例報告書等で綿密に共有されている	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	100%	0%	・標準化されたアセスメントを活用した行動状況を確認することはある ・行動観察やその共有についても意識的に確認を行っている	・フォーマルなアセスメントについては今後研修による専門性が必要
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	100%	0%	・「本人支援」「家族支援」「移行支援」は確実にやっている ・地域支援・地域連携について体系的な取り組みができていない面がある	・「地域支援・地域連携」については、どのような方策の可能性があるかについて検討が必要
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	100%	0%	・各種会議。ミーティング、打ち合わせ等により話し合いができています	・勤務体系(午後から出勤する等)が多岐にわたっているため、意見集約が難しい一面があるが、引き続き、業務日誌、療育計画書等の活用により、意見集約及び周知に関して努力する
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	100%	0%		・活動プログラムのマンネリ化を防ぐとともに、子どもたちの休息の必要性も考慮する必要がある ・多くの活動を取り入れるだけではなく、個々の課題に応じた効率の良い療育を計画する必要がある

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	100%	0%		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	100%	0%	・支援開始前のミーティングは定着している ・情報共有、連携支援についてはグループラインの活用を積極的に行っている	・支援開始前の打ち合わせの重要性を共有し、今後も必ず継続する予定
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	100%	0%	・送迎や勤務時間の相違によって、その日のうちには難しいが、主なものはグループラインにてその日のうちに共有されている ・次の日に、必ず前日の伝達事項は共有し、支援の振り返りを行っている	・終了後は送迎のため打ち合わせ時間は確保できない⇒療育当日の記録をもとにして、次の日には必ず振り返り、改善方法の共有をしている ・グループラインの積極的な活用を行っている
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	100%	0%	・活動報告書に必ず毎日記録することになっていて、支援の検証は確実に実行しており改善につなげている	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	100%	0%	・職員研修の機会に、定期的なモニタリングとして活用しており、児童館に次時の放課後等サービス計画作成に生かしている	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	100%	0%		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定を促す力を育てるための支援を行っているか。	100%	0%	・自己選択の重要視は共有しているため、毎日、その機会を取り入れる療育計画の工夫を行っている	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	100%	0%		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	100%	0%	・不登校児童の支援をとおして、各関係機関との連携体制を職員全員で学び実践する機会とした	・教育機関との連携には力を入れているが、その他の機関との連携について模索する必要がある
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	100%	0%	・主として大分支援学校との関係においては、送迎時に担任との連携を密にしており、児童の情報共有、連絡調整を行っている ・小学校（通常校）の利用児童についてはほとんど連携が取れない状況である	・今後も保護者からの情報提供を依頼し、確実な確認の元トラブル発生を起こさない努力が必要
関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	89%	11%	・新入学の児童に関しては、必ず幼稚園、認定こども園、児童発達支援、療育現場等の見学行き、情報共有を行っている	・確実に実施する
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	89%	11%	・高等部卒業時には、移行支援会議に必ず参加したり、移行する事業所見学を行ったりして情報共有を行っている	・確実に実施する
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	50%	50%	・スーパーバイズを活用していない	・スーパーバイズを活用、研修受講の機会があれば活用したい
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	34%	66%	・企画として児童クラブとの交流は行っていないが、公園と一緒に遊ぶ機会などを多く設けるようにしている	・支援学校の児童が多いため、校区のばらつきが大きく、かつ、学校で居住地校交流を実施しているため、放デイにおいて保護者が希望していない場合が多い。 ・年間1回程度の取り組みについて検討するとよい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	34%	66%	・自立支援協議会の存在や参加方法がよく理解できていない	・自立支援協議会についての学習を深め、積極的参加の方策を模索する必要がある。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	100%	0%	・一番の強みとして力を入れている	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	78%	22%	・保護者や家族支援を行っているが、もう少し研修機会を増やした支援プログラムを体系化したりすると良い	・家族からの要望もあるため、研修の機会を増やす検討をする
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	100%	0%	・契約時に丁寧に説明している	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	100%	0%	・子ども本人は難しい面があるが、連絡帳、担当者会議等の場面を活用して家族の意向を確認する努力をしている	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	100%	0%	・担当者会議において計画の同意を得よう努力している	
保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	100%	0%	・面談や必要な助言について努力している	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	100%	0%	・夏祭りに保護者会等で兄弟児が参加することはある	・積極的に困難な面があるが努力する必要がある
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	100%	0%	・苦情処理の申し出がない	

	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	100%	0%		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	100%	0%		
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	100%	0%		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	89%	11%	・招待することはないが近隣住民との良好な関係に努めている ・地域社会への外出や、企画がある時を捉えて参加することがある	・歴史がある事業所なので、地域の方との交流については、職員レベルでは行っている ・まずは、活動内容を知っていただくために、行事等の開催を検討するとよい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	100%	0%	・事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定しているが周知については不足している面がある	・周知の努力が必要 ・保護者を巻き込んだ訓練の実施が必要
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	100%	0%	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に訓練を実施している	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	100%	0%	・確認している	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	100%	0%	・保護者を通して対応している	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	100%	0%	・計画を作成している ・研修訓練を行っている	・今後一層の充実を図ることが必要
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	89%	11%	・内容の周知が不十分である	・周知についての努力が必要
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	100%	0%	・再発防止に向けた事業所内の努力を行っている	・事故0を常に目標としているが、発生時にはより迅速な対応について努力する
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	100%	0%	・研修、委員会の開催を確実にしている	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	100%	0%	・事例はないが、研修、委員会の開催は確実にしている	